千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要勤まる

9月18日（水）、東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において、第39回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要がお勤まりになりました。沖縄特区からは、佐々木龍三宗務事務所長、浄善寺の島裕太副住職・島瑞妃若坊守・島心桜さんが参加し、島副住職は列衆、心桜さんは献華をされました。以下は島副住職からの報告です。

写真上）佐々木所長（中央）
下右）島副住職
下左）心桜さん

国籍、思想、信条を超えた法要に沖縄から出勤する感慨

第39回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要に列衆として出勤してまいりました。改めて、悲惨な戦争を再び繰り返してはならないという平和への決意を確認することができました。

沖縄でも県が6月23日を「慰霊の日」に制定し、毎年、摩文仁（まぶにそん）村にある平和祈念公園にて「沖縄全戦没者追悼式」が行われますが、これとはまた違った雰囲気の追悼法要でした。そう感じたのは、自らが列衆として参加したこともありますが、千鳥ヶ淵の追悼法要には日本国内外から思想信条を超えた方々が参拝されており、全ての方が全ての戦争犠牲者を追悼し、平和への想いをこめて参列されているからでした。沖縄県でも同じく深い想いから追悼式が挙行されますが、少し違った空気感を感じました。

十方に響き渡ることを願う平和の鐘が鳴り響く中、石上智康総長より「平和宣言」がなされ、まさに阿弥陀さまのみ教えとともに国内外に恒久平和への想いが響き渡る、平和への誓いと願いを新たに感じる法要でした。阿弥陀さまによってもたらされた、様々な人々との出会いのご縁。人は人を傷つけるためにあるのではなく、人を守るためにあるべきなのだと示されているのだと感じました。

この法要を機縁として、全ての戦没者の方々を追悼するとともに、阿弥陀さまの智慧に導かれる念仏者として、非戦平和への取り組みをさらに強めたいと思う法要になりました。

（浄善寺副住職　島裕太）

おきなわ

発行　浄土真宗本願寺派
沖縄県宗務事務所

発行人　佐々木　龍三

〒900-0005
沖縄県那覇市天久2-18-2
電　話（098）860-7009
ファックス（098）860-7469
mail ameku2182@yahoo.co.jp

寺院振興対策学習会を開催

沖縄特区寺院振興対策委員会は10月22日（火）18時より沖縄別院本堂にて、各寺院の更なる活性化をめざし、門信徒が協力できる寺院活動についての「寺院振興対策学習会」を開催しました。講師に麻布明徳師（連研中央講師・東海教区中勢組善福寺）を迎え、「僧侶と門信徒が共に語ろう～寺院の活性化をめざして～」をテーマに、27名が参加しました。

問題提起は、5年後10年後を見据えた「これからの寺院活動」を念頭に「門信徒が参画し活力ある寺院にしていくには、どうしていくか。何ができるか」について。参加者は3班に分かれて話し合い法座を行いました。所属寺院の活動事例を紹介したり、自身が考える理想の寺院の在り方についてなど、皆さんは熱心に語りあい、有意義な学習会を過ごされました。

特区では、僧侶と門信徒が共に考え、話し合う研修会は初の試みでした。特区内寺院のますますの護持発展のため、これからはよりいっそう門信徒の寺院参画が期待されます。

写真上）講師の麻布師の話を熱心に聞く参加者たち
下）話し合い法座の様子

ハイサイ!! 沖縄へようこそ

9月4日（水）、東京教区仏教壮年会連盟理事会の皆さんが沖縄別院に参拝されました。本堂、境内などを見学され、佐々木龍三輪番より沖縄での真宗の歴史や沖縄開教の歩みなどについて聞かれました。皆さんは日頃聞かない情報を耳にして、沖縄の現状に対する理解を深められました。

またのご参拝をお待ちしております。

東京教区仏教壮年会連盟理事会の皆さん

事内行案

11月後半の行事

日曜学校【久米島布教所】
11月17日（日）午前10時～

法話会【久米島布教所】
11月17日（日）午後7時～

天久常例法座【天久礼拝所】
11月24日（日）午前10時～
法話：西脇順照 師（別院職員）

勤式練習会【沖縄別院】
11月27日（水）午後7時～
講師：伊波敬人 師（浄願寺住職）

仏教壮年会セミナー【浦添商工会議所】
11月30日（土）午後2時～

12月の行事

常例法座 引き続き おみがき【沖縄別院】
12月8日（日）午前10時～
法話：西脇順照 師（別院職員）

日曜学校 引き続き 大掃除【久米島布教所】
12月15日（日）午前10時～

もちつき【沖縄別院】
12月29日（日）午前10時～

もちつき【久米島布教所】
12月29日（日）午前10時～

除夜会【沖縄別院・久米島布教所】
12月31日（火）午後11時30分～

2020年1月前半の行事

元旦会【沖縄別院・久米島布教所】
1月1日（水）午前0時30分～

常例法座【沖縄別院】
1月12日（日）午前10時～
法話：比嘉健 師（別院職員）

※特区内寺院・布教所の行事告知・レポート、お寺紹介文などを募集しています。
問い合わせ・申し込みは特区報「おきなわ」担当まで。

総局巡回　併催公聴会
御消息披露式典にて山下総務より佐々木所長へ伝達

10月1日（火）、「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年についてのご消息披露総局巡回」が沖縄別院にて実施され、また、宗門が抱える諸課題の中から特に総局が広く僧侶、寺族、門信徒から意見・提言を伺うための公聴会が併催されました。

御消息披露式典にて、山下総務（中央）から佐々木所長（左端）へ趣旨が演達される

宗派より出向されたのは、山下義円総務、宮部誓雅特命布教講師、丘山願海総合研究所所長、佐藤浩紹本願寺出版社部長、川井周裕社会部替事の5名です。

第1部「御消息披露式典」では、山下総務より「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年についてのご消息」を披露、佐々木龍三所長へ伝達され、山下総務より趣旨演達の後、宮部師による特命布教が行われました。

左から）川井賛事、佐藤部長、山下総務、丘山所長、島組長職務、佐々木所長

特区内寺院・布教所から集まった僧侶・寺族・門信徒

第2部「公聴会」では、佐々木所長による開会の挨拶、山下総務の総局挨拶、佐藤部長より「『子どもたちの笑顔のために募金』のお願いについて」「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要の意義について」「『得度式規程』『教師規程』『布教使課程設置規程』等の制定について」の報告がありました。協議では、「賦課基準の見直しについて」「僧侶育成体系プロジェクトについて（住職・坊守）」の説明後、意見聴取が行われました。参加者からは、「教師規程」の変更点について、また「子どもたちの笑顔のために募金」について意見が述べられました。

最後に、山下総務よりまとめの挨拶をいただき、閉会しました。

みどり丸遭難犠牲者追悼法要

慰霊の碑

8月17日（土）、久米島町銭田森林公園内のみどり丸遭難犠牲者慰霊の碑前にて「みどり丸遭難犠牲者追悼法要」を勤修しました。1963年8月17日、那覇と久米島を結ぶ定期船「みどり丸」が事故に遭い、犠牲者86人、行方不明者26人と、沖縄史上最悪の海難事故となりました。今から6年前、久米島高校で英語講師をされていたリチャード・ジャンセンさんから「2013年は事故から50年目になるため、法要を勤めてほしい」とお手紙をいただき、これをご縁として毎年この日に沖縄別院が追悼法要をお勤めしています。これからも犠牲になられた方々、ご遺族の思いを、私たち僧侶がこの法要を通して伝えていきたいと思います。

沖縄別院の法要

盂蘭盆会・旧盆法要

盂蘭盆会法要

8月11日（日）沖縄別院本堂にて盂蘭盆会法要、8月13日（火）～15日（木）には別院本堂、天久礼拝所及び久米島布教所にて旧盆法要を勤修し、多くの方がお参りされました。

沖縄では、旧歴の7月13～15日にお盆が行われます。初日を「ウンケー」、2日目を「ナカビ」、最終日を「ウークイ」と呼び、それぞれの日の決まりごとに沿って行事が行われます。今年は新暦の8月13～15日と重なり、全国的なお盆と同じ日程になりました。

法要後は、それぞれ納骨壇にお参りし、重箱などを供えた後、沖縄ならではのお盆の風物詩として知られているように、家族や親族みんなでにぎやかにウサンデー（お供え物を下ろして一緒にいただくこと）し、にぎやかに食事をされていました。

↑盂蘭盆会法要にお参りの皆さん

→旧盆。別院納骨堂にて

彼岸会法要（久米島布教所）

9月15日（日）久米島布教所では、午前10時より日曜学校（彼岸会）、午後7時には法話会（彼岸会）を開催しました。日曜学校の法要後は、子どもたちと境内でペットボトルロケットを作り、法話会（彼岸会）では、佐々木龍三輪番からお彼岸についてのお話を聞きました。その後、境内地にて門信徒の方々と交流を深めるためバーベキューを行いました。お肉、焼きそば、焼鳥、野菜などを鉄板で焼き、子どもも大人もバーベキューを楽しみました。

久米島布教所にて、お彼岸についてのお話に聞き入るお参りの皆さん

バーベキュー。子どもも大人もご縁を深める→

彼岸会法要（沖縄別院）

9月23日（月）沖縄別院本堂にて彼岸会法要を勤修しました。法要後は、茶話会を開きました。仏教に関する質問が相次ぎ、ともどもに理解を深めることができた有意義なひと時となりました。

沖縄別院にて、佐々木輪番の法話を熱心に聞くお参りの皆さん